

科目名	生命のしくみ		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2021年度 前期	単位数	2
担当教員	漆谷 博志		
内容および計画	<p>生命のしくみと成り立ちを理解することは、人間自身を理解することである。それは科学的な興味だけでなく、我々が日々の生活を健康に送る上でも非常に重要な知識である。これまでの生命研究において、生物を構成している細胞とその機能、さらには細胞を構成している物質について様々な知見が得られてきた。特に遺伝子は、生物個体の維持だけでなく、生命を次世代に伝える重要な働きを担っている。そこで、本講義では生命現象を深く理解するために、遺伝子の構造や機能を中心に、細胞の構造や機能、また今日的な生命研究についても解説を行う。</p>		
1	生命のしくみ概説		
2	遺伝情報-遺伝子とは何か-		
3	遺伝情報-複製・転写-		
4	遺伝情報-複製・転写-		
5	遺伝情報-遺伝子と人体-		
6	遺伝情報-転写・翻訳-		
7	遺伝情報-転写・翻訳--		
8	タンパク質と情報伝達		
9	生殖-ホルモンと発生・分化-		
10	生殖-ホルモンと発生・分化-		
11	人体の組織・器官とその機能-消化器系・泌尿器系など-		
12	人体の組織・器官とその機能-消化器系・泌尿器系など-		
13	人体の組織・器官とその機能-消化器系・泌尿器系など-		
14	発生・分化-再生医療-		
15	まとめ		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
必要に応じて資料を配布する。			
参考書	大学で学ぶ身近な生物学、吉村成弘、羊土社		
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
出席状況と態度		30	
筆記試験		70	
学習到達目標	生命の根幹をなす要素と現象を理解し、主体的に学ぶことで普段の生活や仕事に役立てられること。		

先修条件	
実務経験	
その他	